press release

2026年11月16日 15:00
株式会社令和トラベル

旅行予約サービス『NEWT（ニュート）』、全国1,741自治体から選出！最大9連休の年末年始にも。「冬の絶景」自治体ランキング ベスト30

株式会社令和トラベル（本社：東京都渋谷区、代表取締役：篠塚 孝哉）が運営する、かしこい、おトク、旅行予約サービス『NEWT（ニュート）』は、12月28日（月）に休みを1日取ると12月26日（土）から1月3日（日）まで最大9連休となる2026～2027年の年末年始を受け、独自調査による「この冬に見たい『冬の絶景』自治体ランキング」ベスト30を発表しました。

今回のランキングは、「冬ならではの絶景か」「この冬に見頃・開催が見込めるか」「定番としての知名度と、まだ知られていない穴場としての魅力」の3つの視点に、NEWTの冬の予約動向を掛け合わせた独自評価によるものです。凍った滝や霧氷、流氷、雪をかぶった集落といった定番の名所から、寒い朝にだけ現れる霧や条件がそろった日にしか見られない夕日などの穴場まで、冬にしか出会えない景色を全国1,741自治体から選定しました。

1位には、数百のミニかまくらの灯りが川沿いを照らす「湯西川温泉かまくら祭」が開催される栃木県 日光市が選ばれました。



＜資料・調査データの転載について＞
本リリースはご自由に転載・引用いただいて構いません。出典を明記のうえ、以下のテキストにリンクを設定する形でご掲載ください。

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973

【記載例】
「海外旅行・国内旅行のツアーやホテル予約サービスNEWT（ニュート）」による調査（https://newt.net/jpn/mag-82129504400?utm_medium=pr）
※過去の発表資料はこちら：newt.net/research

■この冬に見たい「冬の絶景」自治体ランキング ベスト30

第1位　栃木県 日光市



日光市公式観光WEBより

栃木県日光市の湯西川温泉では、冬の夜を彩る「湯西川温泉かまくら祭」が開催されます。沢口河川敷には数百のミニかまくらが並び、ろうそくの灯りが川沿いを照らす光景は日本夜景遺産にも認定されています。平家の里会場では、雪をかぶった茅葺き屋根と竹灯りが幻想的な風景をつくり出します。2027年は1月29日～2月28日の開催予定で、河川敷のミニかまくらは金・土・日の夜に点灯されます。

▸日光市のホテルをみる：**https://newt.net/hotel/jpn/tochigi/nikko?utm_medium=pr**

第2位　北海道 千歳市

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973



千歳市 観光スポーツ部観光課 提供

日本有数の透明度を誇る支笏湖の水でつくる「千歳・支笏湖氷濤まつり」は、千歳市を代表する冬の催しです。スプリンクラーで吹きかけた湖水が骨組みに凍りつき、会場には大小さまざまな氷像が立ち並びます。日中は「支笏湖ブルー」と呼ばれる澄んだ青に輝き、16時30分からは色鮮やかなライトアップに彩られるなど、昼と夜で異なる表情が楽しめます。2027年は1月30日～2月23日に支笏湖温泉で開催予定です。

千歳市 観光スポーツ部観光課長 朱田知志様 コメント
この度は「千歳・支笏湖氷濤まつり」が2位に選出され大変光栄です。新千歳空港からのアクセス抜群な千歳市は、圧倒的な透明度を誇る「支笏湖ブルー」の氷像が織りなす幻想的な冬の絶景が自慢です。まつりを楽しんだ後は、豊かな自然に囲まれた極上の温泉で冷えた体を芯から温め、人気の道の駅では絶品グルメや特産品を満喫できます。四季折々の魅力溢れる千歳市へぜひお越しください。

▸千歳市のホテルをみる：**https://newt.net/hotel/jpn/hokkaido/chitose?utm_medium=pr**

第**3**位　青森県 十和田市

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973



十和田奥入瀬観光機構HPより

新緑や紅葉で知られる奥入瀬渓流は、冬になると渓流沿いに点在する14本の滝が凍りつき、青白い氷瀑の世界に変わります。ネイチャーガイドとバスで巡る「奥入瀬渓流氷瀑ツアー」では、水墨画のような雪の森を散策しながら、渓流の成り立ちを学べます。また、渓流沿いのホテルが実施する氷瀑ライトアップツアー（2026年12月25日～2027年2月28日開催予定）では、馬門岩や千筋の滝が夜の闇に浮かび上がります。

▸ 十和田市のホテルをみる：**https://newt.net/hotel/jpn/aomori/towada?utm_medium=pr**

第4位　北海道 上士幌町

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973



上士幌町 商工観光課 提供

大雪山国立公園の原生林に囲まれた糠平湖は、1955年に音更川をせき止めて造られたダム湖です。真冬には湖面が厚い氷に覆われ、湖底から湧き出たガスなどの気泡が氷の中に閉じ込められた「アイスバブル」が現れます。薄く積もった雪を払うと、白い泡が水玉模様のように浮かぶ光景が見られるのは、例年1月上旬から月末ごろまでの限られた時期だけです。湖畔には旧国鉄士幌線のアーチ橋群が残っており、冬の湖とともに独特の景観をつくり出しています。

上士幌町 商工観光課 コメント
北海道の北十勝に位置する上士幌町は、大雪山国立公園の豊かな自然に囲まれ、北海道遺産旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群や日本最大級の公共牧場ナイタイ高原牧場など、多彩な絶景を楽しめる町です。冬には糠平湖でアイスバブルやきのこ氷などの神秘的な自然現象が見られます。また、日本で最初に熱気球大会が開催された地として知られ、毎年8月と2月に熱気球大会も開催されています。ぜひ上士幌町ならではの魅力をご体感ください。

第5位　長野県 木曽町

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973



photo by PIXTA

御嶽山のふもと、最低気温がマイナス10～20℃まで冷え込む木曽町三岳地区では、西野川沿いの岩壁に「白川氷柱群」が現れます。御嶽山からしみ出す伏流水が岩壁を伝って凍りつき、年によっては幅約250m、高さ約50mにもなる氷のカーテンをつくります。12月ごろから姿を見せ始め、1～2月に最も大きく育ちます。温泉施設「けやきの湯」の裏手から川岸に降りて間近で眺めることができ、鑑賞後に温泉で温まれるのも魅力です。

第6位　奈良県 御杖村



【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973

photo by pixabay

奈良県と三重県にまたがる標高1,235mの三峰山は、日本三百名山のひとつです。1～3月の厳冬期には、山頂付近の木々に空気中の水分が凍りつく「霧氷」が広がり、関西から霧氷を見に行ける山として親しまれています。麓のみつえ青少年旅行村では例年、土日祝に「三峰山霧氷まつり」が開催され、近鉄榛原駅からは臨時直通バスも運行されます。登山道が整備されており、冬山入門にも向いている山です。

第7位　北海道 豊頃町



photo by pixabay

十勝川の河口に近い豊頃町の大津海岸には、厳冬期になると透明な氷の塊「ジュエリーアイス」が打ち上げられます。十勝川に張った氷が割れて太平洋に流れ出し、波に磨かれて海岸に漂着したもので、朝日や夕日を受けると宝石のように輝きます。見られるのは例年1月中旬から2月下旬ごろで、天候次第で海岸から消えることもある一期一会の絶景です。なお、海岸へは車の乗り入れができないため、十分な防寒対策をして歩いて向かいましょう。

第8位　埼玉県 小鹿野町

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973



photo by pixabay　※写真はイメージです

両神山を源流とする尾ノ内渓谷では、冬になると沢の水をパイプで引いて散水し、高さ約60m・幅約250mの巨大な「尾ノ内百景氷柱」が作られます。秩父三大氷柱のひとつで、晴れた日には氷が青く透き通り、渓谷にかかる吊り橋から全体を見渡せます。土日祝の夜にはライトアップも行われ、その電力には渓谷に設けたマイクロ水力発電の電気が使われています。都心から日帰りで訪ねられる身近な冬の絶景です。

第9位　愛媛県 西条市

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973



photo by pixabay

西日本最高峰・標高1,982mの石鎚山は、古くから信仰を集めてきた日本七霊山のひとつです。石鎚登山ロープウェイで標高約1,300mの山頂成就駅まで上がれば、11月下旬から3月ごろにかけて、駅周辺でも木々が白く凍りつく樹氷・霧氷を楽しめます。温暖なイメージのある四国で出会える白銀の世界は、意外性のある冬の絶景です。冬山の登山には十分な装備が必要なため、まずはロープウェイ周辺の散策から楽しむのがおすすめです。

第10位　高知県 宿毛市

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973



宿毛市 商工観光課 提供

高知県の西の端にある宿毛市は、冬の夕暮れに現れる「だるま夕日」の名所です。だるま夕日とは、冷え込みが厳しく水平線まで晴れ渡った日に、海に沈む太陽と海面に映る太陽がつながり、だるまのような形に見える蜃気楼の一種です。例年11月から2月ごろが観賞の好機で、地元の観光協会によると、一冬に20回ほど見られることもあるそうです。大島の咸陽島公園などが観賞スポットとして知られ、四国八十八景にも選ばれています。

宿毛市 商工観光課長 大内淳平様 コメント
宿毛市の冬を彩る「だるま夕日」はもちろん、日が沈む前、空が少しずつ赤く染まっていくひとときも、心に残る特別な時間です。海と空が夕色に包まれる景色を眺めていると、慌ただしい日常を忘れ、気持ちがふっと軽くなります。夕日を楽しんだ後は、宿毛湾でとれた新鮮な魚のお刺身もぜひ味わってください。「景色」と「食」を満喫しながら、宿毛で心に残るひとときを過ごしていただけたらうれしいです。

■ 11位～30位
第11位　岐阜県 白川村／第12位　北海道 紋別市／第13位　埼玉県 秩父市／第14位　富山県 南砺市／第15位　京都府 南丹市／第16位　山形県 山形市／第17位　北海道 釧路市／第18位　長崎県 雲仙市／第19位　福島県 北塩原村／第20位　長野県 茅野市／第21位　福島県 三島町／第22位　青森県 五所川原市／第23位　広島県 三次市／第24位　愛媛県 大洲市／第25位　鳥取県 大山町／第26位　大分県 由布市／第27位　宮崎県 えびの市／第28位　山梨県 富士河口湖町／第29位　茨城県 大子町／第30位　京都府 伊根町

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973

■ まとめ

吐く息が白くなる朝、凍りついた滝や木々を覆う霧氷、川沿いに揺れるかまくらの灯り。冬の絶景は、寒さが厳しい季節だからこそ出会える特別な景色です。今回のランキングには、湯西川温泉のかまくら祭や支笏湖の氷濤まつりといった冬の夜を彩る灯りの景色から、奥入瀬渓流の氷瀑、ジュエリーアイスやアイスバブル、だるま夕日のように条件がそろった日にしか見られない一期一会の景色まで、全国各地の冬の絶景が並びました。北海道や東北だけでなく、四国や九州でも雪と氷の景色に出会えます。最大9連休となる年末年始や、見頃を迎える1～2月の週末は、温泉とあわせて冬にしか見られない景色を訪ねる旅に出かけてみてはいかがでしょうか。なお、冬の絶景は天候や気温に左右されるため、お出かけ前には各自治体や観光協会の最新情報をご確認ください。

旅の計画は、海外旅行・国内旅行のツアーやホテル予約サービス『NEWT（ニュート）』でご計画ください。

■ 調査概要

・予約データ：NEWT予約データより、チェックイン日2026年12月1日～2027年2月28日の予約データを集計（キャンセル除く）
・検索トレンド／SNS：Googleトレンド・急上昇ランキング
・穴場度：Web上の観光メディア・自治体公式情報のリサーチ
※過去の発表資料はこちら：newt.net/research

※本ランキングは株式会社令和トラベルが独自の調査・評価に基づき作成したものです。掲載内容は2026年11月時点の情報に基づきます。

◆かしこい、おトク、旅行予約サービス『NEWT（ニュート）』
web版　海外ツアー https://newt.net/
宿・ホテル https://newt.net/hotel
アプリ　https://newt.net/app
公式LINE　https://lin.ee/ZKchfbF

■令和トラベル　会社概要

令和トラベルは「あたらしい旅行、あらゆる人へ。」をミッションに、旅行におけるあたらしい体験や、あたらしい社会価値の提供を目指すデジタルトラベルエージェンシーです。2022年4月より、かしこい、おトク、旅行予約サービス『NEWT（ニュート）』を提供しています。旅行業界における予約や管理業務のDXを最大化し、旅行というエクスペリエンスを通じた社会価値の創造に挑戦します。

名称　　：株式会社令和トラベル
所在地　：東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスタワー15F
代表者　：代表取締役　篠塚 孝哉
創業日　：2021年4月5日
事業内容：旅行代理店業
登録免許：第一種旅行業（観光庁長官登録旅行業：第2123号）
所属協会：JATA（一般社団法人日本旅行業協会）正会員、IATA（国際航空運送協会）公認代理店
会社HP：https://newt.net/company

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973

『NEWT』ブランドページ：https://newt.net/brand
公式SNS
・LINE：https://lin.ee/ZKchfbF
・X：https://x.com/newt_travel
・Instagram：https://www.instagram.com/newt_guide/
・Threads：https://www.threads.com/@newt_guide
・TikTok：https://www.tiktok.com/@newt_travel
・YouTube：https://www.youtube.com/@newt_travel

【お問い合わせ】株式会社令和トラベル　PR担当　pr@reiwatravel.co.jp　03-6416-1973